

平成30年度事業計画書

当財団は、わが国における小児の健康及び疾病に関する諸問題を総合的に調査、研究し、さらにその啓発、指導、その他の活動の推進的役割を務め、小児の医療・保健及び福祉の向上に寄与することを目的として、「小児の健康並びに疾病の成因、診断、治療及び予防に関する研究助成事業」と小児科医及び小児医学研究者の育成と支援のための「海外留学フェローシップ事業」及び「小児医学・医療・保健に関する優れた研究論文に対する褒賞事業」等に加え、広報啓発活動「市民公開講座」を開催するなど、公益事業の推進に努めております。

今年度は、財団設立10周年を迎えることから、昨年度に設置した「財団設立10周年検討委員会」のもとに事業の発展的推進及び財政基盤の安定強化に向けた検討を推し進めていくとともに、引き続き設立来の重点事業である「小児の健康並びに疾病の成因、診断、治療及び予防に関する研究」に対する助成、若手の小児科医や小児医学研究者育成のための支援事業の充実・推進を図ります。また、親子関係が子どもの発達に及ぼす影響について、近年急速に普及したスマートフォンなどのメディア機器の育児への影響、親子関係が脳に及ぼす影響などを含め、医学的立場から、広く国民に理解と認識を図る啓発活動として、市民公開講座を開催し、小児の健やかな成長のための支援の向上に努めてまいります。

1. 研究に対する助成

(1) 小児の健康並びに疾病の成因、診断、治療及び予防に関する研究

① 小児医学領域全般に関する研究

ア 新しい感染症や急性疾患の診断・治療に関する研究

イ 小児の難治疾患、慢性疾患の本態解明と治療に関する研究

ウ 生活習慣病の予防に関する研究

エ 遺伝子治療など高度先進的医療の開発のための基礎的研究

オ いじめ、虐待、拒食、不登校など子どもの心のケアや心身症に関する研究

カ 生命倫理など社会的問題に関する研究

キ 国際医療協力の基盤となる母子保健に関する研究

ク その他、子どもの健康に関する研究

② 乳幼児栄養に関する研究

(2) 助成金額

① 小児医学領域全般に関する研究

1件 200万円以内、総額 700万円

② 乳幼児栄養に関する研究

2件程度、総額 100万円

(3) 助成対象者

① 小児医学領域全般に関する研究

小児医学の基礎的及び臨床的研究に従事し、平成30年12月31日現在50歳未満の日本国籍を有する小児科医・小児医学研究者（原則として教授及び研究機関等の部長級以上の者を除く。）

② 乳幼児栄養に関する研究

小児栄養の基礎的及び臨床的研究に従事し、平成30年12月31日現在50歳未満の日本国籍を有する小児科医・小児栄養研究者（原則として教授及び研究機関等の部長級以上の者を除く。）

(4) 募集、選考等

募集は、当財団ホームページ、当財団機関紙（子どもたちの世紀）、日本小児科学会雑誌等に公告のうえ行う。

選考は、当財団選考委員会において選考のうえ、当財団理事会において決定する。

2. 海外における研究に対する助成（海外留学フェローシップ）

(1) 発達障害に関する基礎的及び臨床的研究

① 助成金額

1件180万円以内、総額360万円

② 助成対象者

海外の研究機関等において、標記の研究に一定期間（原則6ヶ月以内）従事する40歳未満（平成30年12月31日現在）の日本国籍を有する小児科医・研究者

(2) 募集、選考等

募集は、当財団ホームページ、当財団機関紙（子どもたちの世紀）、日本小児科学会雑誌への公告によりを行う。

選考は、当財団選考委員会において選考し、当財団理事会で決定する。

3. 研究会、研修会、講演会等に対する助成

(1) 助成金額

総額 50万円以内

(2) 助成対象研究会等

当財団企画運営委員会により協賛又は後援の承認を得たもの。

4. 小児医学・医療・保健に関する優れた研究論文に対する褒賞

(1) 褒賞金額

1件30万円、総額120万円

(2) 対象とする研究

① 小児医学領域全般に関する研究論文

② 発達障害に関する研究論文

(3) 褒賞対象者

平成 30 年 12 月 31 日現在 40 歳未満の者で、

- ① 日本小児科学会機関誌「日本小児科学会雑誌」及び「Pediatrics International」に掲載された原著論文の筆頭著者 2 名
- ② 日本小児神経学会機関誌「脳と発達」及び「Brain&Development」、日本小児精神神経学会機関誌「小児の精神と神経」、日本小児心身医学会機関誌「子どもの心とからだ」に掲載された発達障害に関する原著論文の筆頭著者 2 名

(4) 選考等

日本小児科学会及び上記②記載の学会からそれぞれの学会誌に掲載の優秀論文の推薦を受け、当財団の選考委員会において選考のうえ、当財団理事会において決定する。

5. 広報啓発活動

(1) 市民公開講座の開催

テーマ「子どもの脳の発達とメディア（スマホ）の影響について（仮題）」

専門の小児科医と開催地である自治体とによる、子どもたちの心身の成長していく上でのスマートフォン等メディアに対する接し方や親としての管理及び対策事例等について、行政での取り組みを含めわかりやすく解説し、また、会場の参加者からの質疑、不安に応えることにより、子どもの成長に対する正しい理解と認識を啓発し、健やかな成長のための支援の向上に努めるもの

開催日時：平成 30 年 11 月 13 時 30 分～16 時（予定）

場 所：東京都内（予定）

プログラム

（座 長）奥山 眞紀子 先生（国立成育医療研究センター こころの診療部長）

第1部 講 演

第 2 部 参加者とのディスカッション

(2) 機関紙（子どもたちの世紀）の発行

年 2 回（第 20 号：平成 30 年 10 月 1 日発行及び第 21 号：平成 31 年 4 月 1 日発行）

(3) 財団ホームページ（<http://www.jfpedres.or.jp>）の運営